

平成23年度 第3回朝日地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成24年1月17日(火) 13:30～15:40
2. 開催場所 朝日支所 2階第1会議室
3. 出席委員 横井昌平、島田好、本間英三、松田侯夫、遠山政好、菅原美優子、高橋祐、五十嵐孝佐、横井栄子
4. 欠席委員 大滝由博、本間裕一、井上正
5. 出席職員 (事務局) 政策推進課：相馬課長、船山係長
地域振興課：小田支所長、岩沢課長補佐、五十嵐副参事
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

平成23年度 第3回朝日地区地域審議会 会議次第

日時：平成24年1月17日（火）13:30～

場所：朝日支所 2階 第1会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1)(仮)定住の里づくりアクションプラン(素案)について

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

1. 開会 (13:30)

事務局； 定刻となりましたので、ただ今より平成23年度第3回朝日地区地域審議会を開催させていただきます。本日は大滝委員、本間(裕)委員、井上委員から欠席の連絡が入っております。それでは、会長からあいさつをお願いします。

2. 会長あいさつ

会 長； みなさんあけましておめでとうございます。今年は少雪という予報でありましたが例年と変わらない豪雪であります。お車の運転など事故のないようにお気をつけていただきたいと思います。

合併して4年が経過し、市長と市議会議員の改選ということですが、地域に入ると昔の朝日村当時から比べ新市になってまだまだよくなるという市民のみなさんの声がありますが、徐々にいい方向に向かうようまちづくりを進めていかなければなりません。

そういうことで今日は定住の里づくりアクションプラン素案について、いろいろとみなさんからご審議いただくわけありますので、多くのご意見をよろしくお願いたします。村上市が特に力を入れて取り組むべき施策の方向性、あるいは朝日地区として重点を置くべきものは何かという項目もありますので、委員のみなさんのご意見ご審議をよろしくお願いたします。

3. 議事

(1)(仮)定住の里づくりアクションプラン(素案)について

会 長； 事務局から説明をお願いします。

事務局； それでは、本日の進め方の前に、前回の審議会から2ヶ月ほど経過しましたので、定住の里づくりアクションプランについて若干説明をいたします。

第1次村上市総合計画、平成21年度から28年度の計画になりますが、こちらに重点戦略として掲げた「定住の里づくり」を推進するために、産業元気プロジェクト、交流・体験プロジェクト、健やか・子育て応援プロジェクト、人づくりプロジェクト、暮らし応援プロジェクトの五つの戦略プロジェクトを柱としております。

これから今後、後半4年間、平成25年度から28年度の計画になりますが、後期実施計画の見直し作業にあたり、定住促進に向け施策をさらに推進するため、五つの戦略プロジェクトの中で、特に力を入れて取り組むものは何か、その方向性を示すものが、定住の里づくりアクションプランになります。

そこで当審議会におきましても、どこに視点を置くか、何に力を入れてほしいか、委員のみなさまから意見をいただき、後期実施計画策定作業の中で、できる限り実現させていくものにしたいと思っております。

本日は、アクションプラン素案について、前回配付しました3ページ(1)産業元気プロジェクトから暮らし応援プロジェクトまで順次意見をいただき

たいと思います。また7ページの地域活性化に向け各地域で取り組む施策の方向性のうち、朝日地区の部分についてご意見をいただきたいと思います。

なお、本日みなさんからいただきました意見等を事務局でまとめ、答申書の案を作成しまして、次回、第4回審議会におきまして最終確認をしていただきたいと考えております。

会 長； 事務局から説明がありましたが、そのように進めてよろしいでしょうか。

一 同； 異議なし。

会 長； それでは事務局から説明があったように進めさせていただきます。

(1)産業元気プロジェクトの 産業の活性化から 幹線交通網の整備促進までありますが、みなさんからのご意見をお願いします。

事 務 局； (1)から順次意見をいただくということで説明をいたしましたが、なかなか意見が出なければ次に進んでいただいても結構です。 高速交通体系の整備促進の部分につきましては、朝日地区としましては重要な部分であると考えますので、後ほどでも構いませんので、ご意見をいただきたいと思います。

会 長； では(2)交流・体験プロジェクトとありますが、みなさんからご意見をお願いいたします。

事 務 局； 前回の会議で、アクションプランに記載している文言の意味を解説しないとわかりづらいということで、その解説をしたもの、また質問のあった事項についてみなさんに回答しました。意見と思われるものについては、この会議でご発言いただければありがたいということで返答していません。当朝日地区の委員から(2)の項目では、空き家の活用をすべきだというご意見をいただきました。そういったものを今回の会議でご意見していただければと思います。

会 長； 事務局から発言がありましたが、範囲が広く意見を出しにくいとは思いますが、われわれの意見を事務局でまとめ、次回の審議会で答申書案をまとめるということですので、まずはみなさんから意見を出していただきたいと思います。

委 員； 先ほどの質問事項等に対する回答書は誰が回答したものでしょうか。市で調整を行ったものですか。

事 務 局； 各質問事項につきまして該当すると思われる課に照会し回答をいただいたものです。

委 員； 高速交通体系に戻りますが、この中に「地域をあげての要望を強化する」とありますが、高速道路をなぜつなげるかといった場合、救急車が大きな病院に早く着くようにということのほうが強く感じられます。

車で旅行しようとしたとき、高速道路を基本として考えると思います。昨年3月に朝日まほろばICまで開通して、みどりの里に車が止まるというのは、途中の休憩所としてではないでしょうか。買い物など何か目的をもっての利用はしていないと思います。例えば秋田県まで旅行に行くとき、前回みどりの里を利用したので次のICまで行ってみようということになると思います。

今後つながってしまってからでは遅いと思いますので、10年後開通したときみどりの里の施設がどうなっているのか、設備投資をしてプールが今よりきれいになって、もっと子どもたちが遊べる施設になっているのか、宿泊施設は増

えているのか、それとも古くなって使えなくなっているのかと考えてしまいます。予算などいろいろありますが、具体的なことを含めて話したほうが、意見が出やすいのではないかと思います。

事務局； ありがとうございます。ただ今のご意見は、高速道路を利用した人が、みどりの里に魅力を感じて降りてくれるのかという趣旨の意見として受け止めさせていただきます。

今、みどりの里は国道7号の道の駅で物産販売、食堂、温泉、宿泊施設、プールなどありますが、ここをめぐって来ない人が降りてくれるのかという問題提起だと思いますので、知名度を上げて、また上げるためには何が必要かということを考えるべきだというご意見として受け止めさせていただきます。

会長； ほかにみなさんからございませんか。

委員； ただ今の委員の意見はよい意見だと思います。やはりみどりの里がサービスエリアになるのがよいことだと思います。高速道路利用者はもちろん、地元の人一般道から利用できる施設になればよいと思います。ハブ空港のようにここからあちらこちらの観光地などに行けるとなれば夢も広がると思います。

会長； 新潟県は長野県や福島県、山形県など隣県に比べ観光地としてはまだまだ劣っていると思います。これまで米作により生活がある程度恵まれて安定していた背景があると思うが、これから高速道路の建設を機に観光地として交流人口を増やす必要があると思います。

会長； 冒頭は順番どおり意見をいただくこととしましたが、意見が出にくいようですので、どれについてでも構いませんのでご意見をお願いします。

委員； 朝日地区が活性化するためには何が必要かと言えば、やはりみどりの里周辺に交流人口が増えることだと思います。今後、みどりの里が管理委託されると市が私たちの意思をくみ取ってどれだけ対応してくれるのか不安もあります。

私もみどりの里の敷地内にある施設に携わっていますが、みんなが同じ方向に向かい活性化していこうと思わない限り、行政が何を言っても進まないと思います。みんなが一致団結して進めるような方向付けを作られればよいと思います。今、箱物は無理なので、高速道路から見えるところに、みんなで、ボランティアで集まって、春になったら菜の花でいっぱいにするプロジェクトなど行ったほうがお客様を呼べるような気がします。

福島潟も時期になればすごい人が訪れています。あまり予算をかけなくてもみんな楽しんでボランティアをやりながらできる施設、見附市のイングリッシュガーデンもそうですが、あそこで結婚式を挙げたい、じゃあそのための施設を作ろうというように住民が主体となってやっているの、みどりの里近辺でそういうことが起きてほしいという夢があります。

会長； 大変どうもありがとうございました。

事務局； 今、委員が言われた特に後段部分のような意見を事務局としていただきたいと思います。

委員； 村上市・岩船郡は、米は日本でナンバー2、鮎釣りでは全国的に三面川は非常に有名で、シーズン中はこの辺の民宿はすべて満員状態だそうです。魚も山

北漁協や岩船漁協があり、林業もそうですが非常にすばらしい自然環境をもっています。みどりの里で魚を始め直売すればいいと思います。山菜もこの辺のように雪をかぶった後に生えてくるものが多いそうなので、有効利用を図る必要があると思います。それをどうやって生かしていくかだと思います。

会 長； 近くの山に行けばすぐに山菜も取れるので、魚でも何でも逆に恵まれすぎてありがたみが薄れ、有効利用を図れないでいるかもしれません。これらも地域で活用すれば高速道路の効果も出てくるかもしれないと思います。

委 員； 山形県に行けば山の上まで葡萄畑があります。この辺も空き家も結構ですが畑も活用できるやり方はないでしょうか。畑もまとまった面積があればこの辺の人は無理でもほかに借り手はいると思います。

昔の里山を取り戻すには、手を加えなければきれいになりません。野原に行っても手を加えないから、向こうも見通せず、熊でも何でも出てきます。また、ここにスーパーラインも書いてあるが、近年、通り抜けできない状態です。行政にも考えてもらいたいが、せめて山形県に抜けなくても高根地区と周回できれば訪れる人も増えると思います。

私はやな場にいましたが、以前は山形県から来る人も山形県に向かう人も寄ってくれましたが、今はやな場に来る人も相当減っています。山菜取りにも行けない状態なので、対策をとってもらえれば結構訪れる人がいると思います。

会 長； 会議を始めて1時間ほど経過しましたので、10分間の休憩をとります。

【10分休憩】

会 長； それでは議事を再開します。時間も経過し、みなさんから意見が出るようになりましたが、(1)から(5)まであります。また各地区で特に力を入れて取り組むべき施策の方向性についても2項目あります。関連もあると思いますのでそれらも含め多くの意見をお願いします。

委 員； 「移住定住者支援制度の研究を進め」とありますが、この支援制度はあるのでしょうか。

事 務 局； 今は市内にずっといる方と外から来た人で差がある制度はありません。ほかの自治体でも、よそから若い人に来てもらいたいというときに、住宅の提供だけでなく、その他の優遇策を付けてこの町に来て下さいというところが多くあります。村上市でも、空き家バンク制度にご理解いただける所有者に登録していただいて空き家バンクを始めましたが、それだけではなく村上市ではほかの手立ても考えなければならないのではないかとということで、これからの総合計画の中では考えたいということであります。

先般12月の定例会でも外から来る人には優遇するべきではないかというご意見を受けました。糸魚川市の例をとって、移住してくる人だけではなく地元に残る若い人達も、高校や大学を卒業して仕事に就くといったときに新しく車が必要だったり、運転免許を取得することがあるので、そのときに自治体が用意した資金を借りるときの利子は市が負担する制度があるということで、村上市

でも考えていかなければならないのではないかと趣旨のご質問をいただいて、われわれが考えていることと同じことを議員が言われたと思いました。村上市ではどういうことがいいのか考えなければならないということで項目をあげましたが、このような制度は今のところありません。

委員； 空き家バンクの現在の状況を教えてください。どこの管轄でどこにあるのですか。

事務局； 政策推進課の管轄です。現在ホームページで公表していますが6軒、写真付きで載せています。契約成立は契約済みのマークがしてありまして、どなたでも見る事ができまして、問い合わせもあります。

会長； ほかにございませんか。

委員； (3)の地産地消の点ですが、青少年育成協議会の講演会の中で、今の子どもたちは白いご飯に何かをかけないと食べられない子が多いということを聞きました。そこですぐできることとして、白いご飯は村上市で取れた米に、漬物、味噌汁は地元産のものを食べさせてはどうでしょうか。できる部分からやっていただければと思いましたが、検討していただければと思います。

次の(5)人づくりプロジェクトのところ、「学校支援地域本部事業を充実し、家庭・地域・学校が」とありますが、今の子どもたちのことを考えると地域・学校というよりは、とにかく家庭の中だと思えます。そうしたときに会議等でコーディネーターの方などが、先に行き過ぎているのではないかと個人的には思います。子どもたちがはたして何を望んでいるのか考えたときに、ある校長先生が言っていましたが、清流荒川、三面川も非常に素晴らしい川だと言っておきながら、小学生中学生には危ないからそこには行くなと教えなければならぬ。言葉では言えるけど、せっかくの自然を生かした教育ができないので、授業でも若干危険が伴うかもしれませんけど何か変わった授業、食育を通じた部分でいくと面白いのではないかと考えていたので意見として述べさせていただきました。

学校支援地域本部事業には相当の予算がありますが、子どもの数が減ってPTAの予算が減っており活動が厳しくなりつつあります。「教育環境づくりを推進していく必要があります」とありますが、先に進まず、「各学校、地域のPTAの意見を聞いて」というような言葉を入れていただきたいと思えます。

事務局； 教育委員会の話では、学校給食におけるお米のほうは地元産を使用していますが、副食の野菜などは安定供給ができない部分がありますので、全部というのは難しいとのこと。産地を確認し、地元産が無理であれば県内産というように努力はしているとのこと。

会長； 貴重なご意見ありがとうございました。ほかにみなさんございませんか。

委員； 以前は学校林などさまざまありましたが、今、このような休耕地がいっぱいあるので、各学校で田んぼにしても、畑にしても何かを作って、果樹でもいいと思えますが、利用することで土地の活性化、また子どもの遊び場を兼ねた教育ができるのではないかと考えています。今の時代に合わないかもしれませんが、田畑等の休耕地を生かすにはそういう方法もあるのではないのでしょうか。高速

道路を利用してくる人もまとまった農地があれば借りる人はいると思います。

会 長； ほかにありませんか。

委 員； 路線バスがなくなったときに、どんな方法があるのかと考えることがあります。いろいろな取り組みがテレビなどでも紹介されていますが、集落では誰が病院に行きたいのか家庭環境を把握していると思いますので、集落が中心となって支援できる仕組みを考えていただきたいと思います。

市が事故対応などすべてクリアできるような、輸送コストなど難しいことがあると思いますが、集落の誰かが中心となって病院の送迎なり買い物なり、集落の中で完結できれば地域活性化もできるし、お互いの信頼関係も築けるといいますので検討をお願いします。

会 長； ほかにみなさんございませんか。

委 員； 公共交通の件ですが、一つ残念に思うのが、乗り合いタクシーで通院としか書いていませんが、これはお年寄りのためだけなのでしょう。例えば、高校生、中等教育学校、遠くから新発田市の高校まで通っている子がいます。お父さんお母さんが毎朝6時半くらいに駅まで送っていると思います。これは非常に大変なことだと思います。朝日地区には鉄道がありませんので、ほかと条件が違ってくるとは思います。ぜひここに通院だけでなく通学に関する記事も掲載していただきたいと思います。

会 長； ほかにございませんか。

ないようですので議事を終了します。

4. その他

会 長； その他について事務局からありますか。

事 務 局； 次回の日程についてご協議をお願いしたいと思います。事務局としましては2月15日に全地区一斉に市長への答申を予定していますのでそれ以前ということで2月上旬をお願いしたいと思います。

会 長； それではみなさん2月2日木曜日はいかがですか。都合が悪い方がいなければ2月2日午後1時30分からでどうでしょうか。

一 同； 異議なし。

事 務 局； それでは本日みなさんからいただいた意見を基に答申書（案）を作成し、1月25日頃まで郵送等で送らせていただきます。

会 長； ほかにみなさんからその他ございませんか。

会 長； ないようですので議題は終了となります。

事 務 局； それでは閉会のあいさつを横井副会長からお願いいたします。

副 会 長； 今日はみなさま長時間の審議お疲れ様でした。2月2日に日程が決まりまして、次回までに答申をまとめたものを事前に送って下さることなので、熟読いただき次回審議をよろしく申し上げます。ありがとうございました。

5. 閉会（15:40）